

# 徳農・城西 同窓会だより

- 徳島県立農業学校
- 徳島県徳島農業高等学校
- 徳島県城西高等学校
- 徳島県立徳島農業高等学校
- 徳島県立城西高等学校

創立114年 平成31年3月発行



徳農・城西同窓会会長  
瀬部昌秀

## 同窓会の絆の深まりをめざして 改訂版同窓会名簿の発刊

徳農・城西同窓会の皆様におかれましては、益々お元気で活躍のこととお慶び申し上げます。本年度の同窓会活動におきましては、同窓生の皆様のご支援とご協力によりまして、つぎがなく推進することができました。厚くお礼を申し上げます。

近年、城西高校の生徒の皆様さんの活躍は素晴らしい、新聞紙上等でその活動が数多く紹介されています。

同窓会として大変うれしいことであり、誇らしく感じますと共に声援を送りたいと思います。また、ご指導いただきました教職員の皆様に対しまして、厚くお礼を申し上げます。これからも後輩の皆様が積極的に様々な活動に取り組まれ、充実した高校生活を送られることを願っております。

さて、母校は、平成二十六年に、百十周年を迎え、多くの同窓生の皆様のご支援によりまして盛大な記念式典を挙行すると共に、記念事業を執り行うことができました。これも多くの同窓生の皆様のお陰と改訂版同窓会名簿の発刊を機に、同窓会としての絆の深まりをめざして、改訂版同窓会名簿の発刊を行いました。



情報更新された改訂版名簿により会員相互の連絡と親睦が図られ、高校時代に支え合った仲間関係を維持し続けられることを願って発刊いたしましたと思っております。

名簿作成作業は、本年から名簿の確認作業を開始し、来年度に新しい同窓会名簿の完成を目指してまいります。同窓会名簿の作成にご協力をいただきますようお願い申し上げます。

尚、同窓会の活動状況に

おきましては城西高校ホームページに掲載いたしますのでご覧いただけますようお願い申し上げます。引き続き同窓会活動をめざして、ご意見をいただきながら取り組みたいと思っております。ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



徳島県立城西高等学校校長  
小原史明

## 近況報告

同窓会の皆様方におかれましては、日頃から本校の教育活動推進に御理解と御支援をいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。

昨年の夏は「命に関わる危険な暑さ」が全国に広がり、また、各地で地震や土砂災害などの大きな災害が発生いたしました。被害に見舞われた皆様方には謹んでお見舞い申し上げます。

三月一日に、第二十二回卒業証書授与式を行い、今年も本校から百六十三名の生徒が巣立ちました。式前日に同窓会入会式を済ませ、晴れて全員が同窓会に仲間入りさせていただきました。

学校の近況ですが、元畜産実習棟の跡地に昨年三月、アグリビジネス科の実習棟が完成し、同科の二年生が、本格的に実習等で活用しています。実習棟は、植物工場、加工実習室、ミーティングルームと校内農産物販売所「そよかぜ」を備えています。完全閉鎖型の植物工場では、リーフレタスを生産しています。六次産業化の取組みとして、上勝町の葉ワサビを原材料にした「はっパウンドケーキ」や徳島産の野菜パウダーを入れた「クッキー」などの商品開発を研究して

います。「そよかぜ」は、生徒による模擬会社「城西アグリード」が担当し、取り扱う商品は、これまで扱ってきた校内農産物・加工品に加えて、同窓生の農産物やフェアトレード商品、連携協定を結んでいるとくしま障害者授産施設支援協議会の施設の商品などです。週に一回の開店ですが、平均八十七人と多くの来客で賑わっています。初めてのことが多く、苦勞も多いのですが、生徒の学習活動が広がることに喜びを感じ、熱心に取り組んでいます。また、この城西アグリードの活動には、同窓会から援助をいただいております。

植物活用科は、花や植物の力を最大限に生かす方策を追求しています。阿波藍六次産業化、高品質な草花、ハーバリウム、どれも注目の的となっています。

食品科学科は、徳島の食材を生かした製品作り、本場においていと言われる製品作りを研究しました。フィナンシェやマドレーヌは、不動の人気となっています。

総合学科は、自分の進路や興味・関心に合わせて科目を選択し、主体的な学習で視野を広げました。「届けよう！服のカプロジェクト」では、社会に目を向けることの大切さや生き方を

「耕心」。「土を耕しながら、己が心を耕す。」人間としてどうあるべきか。自分の心をしっかりと耕し、やわらかく包容力のあるものにするのが、これから長い人生の基盤になると考えます。

「エシカル消費」は、未来に目を向け、人や社会環境のことを考え、倫理的に行動することでした。私たち一人ひとりが、主体的に判断し、行動をすることでその本質があります。

「Let's create our future」

平成から新しい時代に変わる今こそ、これからの社会に参画する主権者の一員として、徳島から、この城西高校に学んだ皆さんから、エシカル消費の広がる、持続可能な社会を築いてもらいたいと願っています。そして、その基盤となる心を、常に耕し続けてください。

贈りました。「耕心」。「土を耕しながら、己が心を耕す。」人間としてどうあるべきか。自分の心をしっかりと耕し、やわらかく包容力のあるものにするのが、これから長い人生の基盤になると考えます。

「エシカル消費」は、未来に目を向け、人や社会環境のことを考え、倫理的に行動することでした。私たち一人ひとりが、主体的に判断し、行動をすることでその本質があります。

「Let's create our future」

平成から新しい時代に変わる今こそ、これからの社会に参画する主権者の一員として、徳島から、この城西高校に学んだ皆さんから、エシカル消費の広がる、持続可能な社会を築いてもらいたいと願っています。そして、その基盤となる心を、常に耕し続けてください。

私は、教頭時代を含め、城西高校での勤務が六年目となりました。

県内の農業教育の中心校、そして、最も歴史のある総合学科を有する城西高校が、次代のリーダーを育成する使命を果たしていくようにこれからも微力を尽くす所存です。

今後とも、本校の教育活動にご理解いただき、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

